

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

株式会社 大垣共立銀行

2 実施内容

備品導入支援

3 実施日又は期間、実施場所

令和5年10月10日(店舗オープン)

大垣共立銀行 一宮支店

愛知県一宮市大和町馬引字古宮25

4 県産材使用量

店舗ロビー椅子他椅子×41

応接室ソファ × 3

応接室机 × 6

5 実施内容の詳細

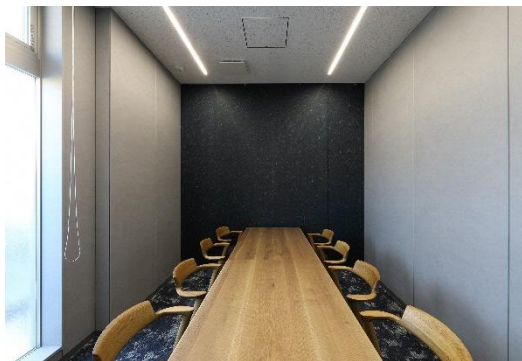
当社一宮支店の新築にあたり、岐阜県産のナラ材等を使用した家具を導入



店舗ロビー



ROOM1 (相談ブース)



ROOM2 (応接室)



ROOM3 (応接室)

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

岐阜県木材協同組合連合会

2 実施内容

A：ぎふ住宅フェアへの出展

B：ふるさと建材・家具見本市への出展

3 実施日又は期間、実施場所

A：令和5年10月7～8日

B：令和5年11月15～17日

4 県産材使用量

—

5 実施内容の詳細

A：・木工教室開催。県産材桧木工キットを親子で組み立てた。岐阜の木に関するアンケート調査を実施。県産材製品火バリ、ハリーさんや産直住宅木造応急仮設住宅のPR

・県産材桧木工キットを配布

B：・県産材製品（東濃桧の柱、梁、囲柱ラーメン、バレルサウナ、桧風呂、火バリ、アベマキカッティングボード、県産材JAS構造体）やパネルの展示、パンフレット配布

・東濃桧スマホスタンド枡を配布

・県産材JAS製材クイズラリーやぎふの木に関するアンケートを実施し、参加者には東濃桧製品グッズを進呈



(A：木工教室の様子)



(A：県産材製品のPR)



(B：出展の様子)



(B：東濃桧スマホスタンド枡を配布)

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

株式会社鷺見製材

2 実施内容

- ・小学校への県産材啓蒙の出前授業
- ・森の見学ツアーを年1回
- ・木育イベントを年2回実施

3 実施日又は期間、実施場所

- ① 小学校：10/20、11/2
- ② 森の見学ツアー：10/29
- ③ 木工イベント：8/5、11/4

4 県産材使用量

ー

5 実施内容の詳細

- ① 郡上市大中小・白鳥小にて終日、森林教育を実施
- ② 参加者15名と森の現状や製材工場を見学
- ③ 木工イベント マイ箸づくり、木の輪投げ
- ④ 木工イベント 子ども上棟式を体験

小学校への出前授業風景



長良川事業協同組合を見学



森の現状を見学



FC 岐阜のイベント会場にてマイ箸作り



マルシェにて輪投げで木を体感

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

事業者名：中部国際空港株式会社

所在地：中部国際空港

2 実施内容

岐阜県産材備品の導入

3 実施日又は期間、実施場所

実施日：2024年3月26日

実施場所：中部国際空港

4 県産材使用量

2.354 m³

5 実施内容の詳細

T1※1 バスラウンジに飛騨家具コーナーを設置、T2※2 国際線/国内線の出発搭乗待合エリアにカームダウン・クールダウンスペースを設置

※1：第1ターミナル ※2：第2ターミナル



(T1 飛騨家具コーナー)



(T2 国内線カームダウン)



(T2 国際線カームダウン)

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

鍋屋バイテック会社

2 実施内容

製品在庫用木製パレットの県産材利用

3 実施日又は期間、実施場所

関市桃紅大地1番地

4 県産材使用量

26.36 m³

5 実施内容の詳細

パレット県産材使用量

0.0243 m³/個×1,085 個=26.36 m³



木製パレット

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

- 1 事業者名・団体名及び所在地
株式会社フロンティアの介護
名古屋市東区泉1丁目19番8号
- 2 実施内容
新規介護施設開設による施設建築工事
- 3 実施日又は期間、実施場所
令和5年12月16日 着工
令和6年3月15日 竣工
岐阜市本荘熊野前1941-23
- 4 県産材使用量
81.1869m³
- 5 実施内容の詳細
建物構造部分に岐阜県産材を使用



外観



廊下



居室



躯体

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

ライフサポート株式会社
各務原市蘇原新栄町 1-25-4

2 実施内容

ナーシングホームサフィール各務原
木造化

3 実施日又は期間、実施場所

着手 令和 5 年 7 月 1 日
完了 令和 5 年 12 月 18 日
各務原市蘇原青雲町 2 丁目 23 番

4 県産材使用量

49.36 m³

5 実施内容の詳細

当施設は岐阜県産材を活用し、安心して快適な環境を提供しています。医療依存度の高い方々にも適した施設で、常駐の看護師と信頼できる医療機関と連携しています。



木の温もりを大切にした住居空間



「家族と共にいつでもそばで
安心して暮らせる場所」
24 時間の面会が可能です
※夜間帯は事前のご一報を

ナーシングホーム サフィール各務原
24 時間安心の介護と医療



安心してご利用いただけるよう
丁寧に施設の特徴やサービスを
ご説明いたします。

岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

岐阜市六条江東2丁目5番6号
岐阜県森林組合連合会

2 実施内容

内装木質化

3 実施日又は期間、実施場所

場所 ぎふ森林文化センター 2F 応接室
完成日 令和6年3月27日

4 県産材使用量

0.4816 m³

5 実施内容の詳細

岐阜県産材桧を使用し、当会事務所の
応接室を内装木質化しました。

応接室 内装木質化



岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定実施状況

1 事業者名・団体名及び所在地

団体名：ぎふの木ネット協議会
所在地：岐阜県羽島郡岐南町みやま
ち1-3

2 実施内容

会員工務店へ、県産材利用促進に
貢献した企業の発表 1回 12
月7日
会員へ県産材利用促進のPR
通信6回、メルマガ12回

3 実施日又は期間、実施場所 フォーラム：

第一回：4年7月19日

第二回：4年12月7日

4 県産材使用量 —

5 実施内容の詳細

右欄のとおり。

岐阜県 補助金活用のご案内

ぎふの木ネット協議会 会員さまにご案内できる、工務店さま・ハウスメーカーさまにご
活用いただける補助事業をご案内させていただきます

○ ぎふの木で家づくり支援事業

岐阜県では、住宅を新築または改修する際、岐阜県産材の構造材、
内装材使用量に応じてお施主様に助成を行われています。

- ・県内新築タイプ：15万円から最大32万円
- ・県外新築タイプ：15万円から20万円
- ・県内改修タイプ：4万円から最大16万円

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/8700.html> ← 岐阜県サイト
県ホームページにて 5月1日更新の情報（令和5年5月11日現在）

○ ぎふの木で家づくりローン支援制度について

岐阜・愛知・三重県内で木造戸建て住宅を新築する方を対象に、
強力金融機関が取り扱う住宅ローンにおいて金利優遇を受ける
ことができる制度になります。

ぎふの木で家づくり支援事業（県内新築タイプ、県外新築タイプ）と
併用が可能です。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13588.html> ← 岐阜県サイト
県ホームページにて 4月3日更新の情報（令和5年5月11日現在）



ぎふの木ネットメルマガ No.47

今月号の インデックス はこちら

ぎふの木ネット協議会 令和5年度 方針発表会
5月19日にセミナーを行います
ぎふの木ネット H P リニューアル
会長からの挨拶
岐阜県 補助金活用のご案内

画像は令和5年4月にぎふの木ネット協議会から会員に向けて発信したメルマガです。発信は毎月おこない、年12回の発信を行いました。4月号での内容は、県産材利用促進のための協議会主催のセミナーの案内、県が発表している県産材を利用した補助制度の案内などになります。毎年4月ごろにその年の新しい補助制度が発表されますので、それを協議会会員の100社を越える工務店さまにお伝えする事で県産材の利用を促進しております。

住宅・木材業界 今そこにあるピンチとチャンス

コロナ禍、ウッドショック、ウクライナ問題。
グローバルな急速な変化の中で住宅・木材業界に大きな変化が押し寄せようとしています。
今後の予想をまとめました。

<ピンチ>

<日本の人口減少>

世界の人口はどんどん増えています(現在約80億人、2080年には100億人オーバーの予測)。
しかし、日本の人口はどんどん減っています。
(現在約1億2,500万人、直近の出生数が80万人を割り戦後ピークの1/3に……7年連続で過去最少を記録、2060年には8,600万人位になる予測→30%以上減少)

<新設住宅着工減少>

住宅着工はどんどん減りそうです。
2022年に約86万戸の着工数が、2030年には70万戸、2040年には50万戸と予測されています。
更に直近では資材高騰の影響で持ち家が減り(約11%ダウン)、分譲や買家が減っています。

<大工職人減少>

2000年に約65万人→現在約30万人、2030年には20万人の予測
住宅着工の減少より、職人さんの減少ペースの方が早いです。

木材業界として気になるのは……

< 外材の動き >

たとえばアメリカでは、
ウクライナ問題 → 資源、エネルギー価格高騰 → 大幅なインフレに →
住宅価格高騰 → FRBにより段階的金利上昇(住宅ローンは現在約6%)
→ 住宅着工のブレーキ → 外材価格の下落
こうした背景のもと輸出ドライブがかかる予測もあります。

しかし、大きな変化の中には、チャンスととらえる動きもあると感じています。



ぎふの木ネットでは、

脱炭素化

エネルギーの効率化や断熱性能の向上等により、県と連携をとり脱炭素化を目指す

地方創生

キイノクスサプライチェーン により、川上・川中・川下 との連携を進め、木材、住宅産業の活性化を通し地方創生に貢献する。

健康

木の香りに囲まれた快適な空間や温度差の少ない健康的な環境の実現により住む人の健康寿命の伸長を図る。

時代の流れを先取りする事で、多くのビジネスチャンスに結びつけ、ぎふの木ネットの会員様にも
メリットのあるようにしたいと考えています。

岐阜県 木の国、山の国 県産材 利用促進条例

県産材 利用促進条例が 令和5年4月1日より 施行されます。
これをキックオフとして県産材の利用促進が、計画的目づ効率的に進められます。
住宅、家具、非住宅に至るまで、全県をあげて実行される予定です。
キイノクスサプライチェーンはこうした背景化、スタートを切る事で、国 県の方向性に歩調を合わせる形でより強力的、実践的な組織を目指します。

具体的 スケジュール感とメリット

スケジュール	メリット
4/1 岐阜県 木の国、山の国 県産材利用促進条例 施行	キックオフ、全県的行動へ
4月 キイノクスサプライチェーン 三者協定・システム作成	県産材、安定価格、安定供給に向け第一歩
5月 具体的すり合わせ 具体的協定に向け行動 全体的な骨格・構築	
5/23 ぎふの木ネット 方針発表会説明 長良川国際会議場	
4～6月 サプライチェーンに付帯する プロジェクト同時進行	
① 基本的構造材パッケージ	県産材利用で高強度、高性能、実現
② 共同購入システム	共同購入により高品質、リーズナブル価格 実現
③ 分譲プロジェクト	ぎふの木の家 分譲プロジェクト
④ 非住宅、リフォームパッケージ	県産材利用でのパッケージ開発
⑤ ビルダー別、住宅モデル作成、システム	ビルダーさんオリジナルの資材パッケージ を作成
7/19 ぎふの木ネットフォーラム 岐阜グランドホテル	実例、途中経過発表

画像は令和5年4月に発送した「ぎふの木ネット通信」という名称でぎふの木ネット協議会から協議会会員にむけて発行・郵送したのになります。発行は2ヶ月に1度、年6回の発行を行いました。メルマガの配信だけでは閲覧率が弱いこともあり、実際の紙にすることで会員の目に情報が留まるようにいたしました。内容は過去2ヶ月分のメルマガからより利用促進となる情報を選定して作成。さらに補助金などの有用となる情報・協議会からのお知らせ、県産材活用促進となる補助事業のチラシが発行されていればそちらの同封。



ぎふの木ネット 第一回フォーラムの開催（令和5年7月19日）

協議会会員の多くの工務店さまにご参加いただきました。一社一社の方にお伝えするのは大変ですが、各社に一同にそろっていただきましたので、皆さんにFace to Faceで伝える良い機会となりました。こちらでは岐阜県林政部県産材流通課および都市建築部住宅課の方から県産材について補助制度についてお話しをいただきました。

ぎふの木ネット協議会からは県産材を活用する有用性を伝えるはなしとして脱炭素化をテーマにお話しをしました。



ぎふの木ネット 第二回フォーラムの開催（令和5年12月7日）

今回のフォーラムでは外部の有識者をまねきサプライチェーンやその中の協定を考えるうえで大変参考となる講演を行った。協議会では県産材活用促進のために、サプライチェーンの取り組みを行っておりその活動の参考となり、今後の活用促進に繋がると確認しています。

また大学教授の先生を2名お招きしており健康住宅、木材の性能を活かした家づくりを議論いただき、木材建築の有用性の認識を改めて広めました。